

催し物のご案内

●野外観察・室内実習「植物図鑑の使い方～春の花編～気になる花しらべ」

[博物館]

日時／4月22日(土) 10:00～15:00

対象／小学4年生～成人 15人

申込締切／4月4日(火)

●野外観察「春の地形地質観察会」

[湘南平周辺(大磯町)]

日時／5月3日(水・祝) 10:00～15:00

対象／小学4年生～成人 小学4～6年生

は保護者参加必須 40人

申込締切／4月18日(火)

●室内実習「おやこで貝がらを知ろう」

[博物館]

日時／5月5日(金・祝) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00

対象／小学1～3年生 保護者参加必須

各20人

申込締切／4月18日(火)

※①と②は同じ内容です。参加時間帯をお選びください。

●野外観察「昆虫観察会」

[弘法山か渋沢丘陵(秦野市)]

日時／①5月7日(日) ②6月4日(日)
各10:00～15:00

対象／小学4年生～学生 小学4～6年生

は保護者参加必須 各20人

申込締切／①4月18日(火) ②5月

16日(火)

※①と②は違う内容です。それぞれにお申し込みください。

●野外観察「磯の生きもののウォッチング」

[三ツ石海岸(真鶴町)]

日時／①5月14日(日) ②6月11日(日)
各10:00～15:00

対象／小学1～6年生 保護者参加必須

各40人

申込締切／①4月25日(火) ②5月23日(火)

※①と②は同じ内容です。

※IGES 国際生態学センター共催

●室内実習・野外観察「オタマジャクシを顕微鏡で観察してみよう」

[博物館]

日時／5月21日(日) 10:00～12:00

対象／小学1年生～成人 15人

申込締切／5月2日(火)

●室内実習「化石講座～ゾウ化石を調べよう～」

[博物館]

日時／5月28日(日)・9月9日(日)・10月29日(日)・12月17日(日)・2018年2月18日(日)
各10:00～16:00

対象／中学生～成人 10人

申込締切／5月9日(火)

※全日程継続して参加できる方が対象です。

●講義・野外観察

「本当は怖いアメリカザリガニ～最悪の水辺の外来種について勉強しよう～」

[はるひ野(川崎市麻生区)]

日時／6月3日(土) 9:30～13:30

対象／小学1年生～成人 小学生は保護者参加必須 20人

申込締切／5月16日(火)

●「教員対象講座」室内実習・野外観察 「先生のための地層と化石入門 2017 ～野島から大道をめぐる～」

[博物館及び金沢区(横浜市)]

日時／6月3日(土)～6月4日(日)
各10:00～16:30

対象／教員 10人

申込締切／5月16日(火)

※2日間の参加が条件です。

平成28年度子ども自然科学作品展

2017年3月18日(土)～5月7日(日)

小田原市など県西地区の公立小・中学生の皆さんによる、日頃からの調査・研究の成果、作品を展示します。
作品展：無料(常設展は有料)

●講義・野外実習「きのこさがし」

[博物館及び入生田丸山周辺]

日時／7月15日(土) 10:00～15:00

対象／小学1年生～中学生 小学1～3年生は保護者参加必須 20人

申込締切／6月27日(火)

○催し物への参加について

講座名、開催日、代表者の住所・電話番号、申込者全員の氏名・年齢(新学年)を明記の上、往復はがきにて郵送、または博物館ホームページからお申込ください。応募者多数の場合は抽選となります。抽選で落選した方に対し、キャンセル待ちの対応を行います。ご希望の方は、お申込時に、その旨をご記入ください。参加費は無料ですが、講座により傷害保険(1人・1日50円)への加入をお願いすることがあります。

子ども向けワークショップ「よろずスタジオ」

毎週第1日曜日は「恐竜の折り紙ひらば」、それ以外の日曜日は、実験や観察、工作を通じて、自然科学を身近に感じることができる体験型イベントを開催しています。(第3日曜日は友の会と共催)

開催時間／13:00～15:00

申込み方法／当日受付

催し物の詳細については
ホームページをご覧ください。
問合せ先 企画情報部 企画普及課

生命の星



自然科学のとびら

第23巻1号(通巻86号)

2017年3月15日発行

発行者 神奈川県立生命の星・地球博物館

館長 平田大二

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499

Tel: 0465-21-1515 Fax: 0465-23-8846

http://nh.kanagawa-museum.jp/

編集 田口公則

印刷 株式会社あしがら印刷

© 2017 by the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History.

* 冊子体には再生紙を使用しています。

ライブラリー通信

ビデオブースが書庫になりました

こばやし みずほ
小林瑞穂(司書)

2010年より休止していたビデオライブラリーですが、先日2月から3月初旬に、ブースの改装工事をしました。工事期間中はライブラリーの利用が制限され、みなさまにはご不便をおかけしまして誠に申し訳ありませんでした。

今回撤去したビデオライブラリーは「地球大紀行」をはじめとする様々な分野の自然科学番組と投稿ビデオ番組、併せて300本を超える番組が自由に視聴できるというものでした。しかし、機器の老朽化による故障のため、休止。稼働から15年が経っており、修理部品の調達も難しく、再開は叶いませんでした。

今回の改装の大きな目的は、書庫の増設です。開館から25年を経て、ライブラリーの所蔵資料はどんどん増加し、書庫の拡張は急務でした。博物館にとってライブラリーの資料は、他の標本類と同じように大切な博物館の資料です。調査研究活動にも欠かせないものですし、今後も収集し続ける必要があります。ブースの跡地は、今後は書庫として、更なる資料の充実を図るために活用していきます。



図 ビデオブースではH8の映像を上映していました。